

2025年度事業報告書

2025年4月1日～2026年3月31日

1 事業の成果

当センターは、2014年に設立し、産学公民等の連携（リエゾン）により、川崎臨海部の活性化と環境調和型まちづくりに寄与することを目的に活動している。また、川崎市においても「取り組みに対する誇りと未来を思う熱い志を持つ皆様の力を結集し、この先100年も安全で快適に暮らせるよう、また力強い産業都市として発展していけるよう、全力で川崎臨海部での挑戦を続けてまいります。」（令和7年2月1日市政だより抜粋）と川崎臨海部での取り組みを重要視していることから、市と当センターで連携・協力をより密に図りながら、川崎臨海部の活性化に向けた事業を推進するため、2025年4月1日付けで、「川崎臨海部産学公民連携推進事業の実施に関する協定書」及び覚書を締結した。

理事会・通常総会については、5月22日に開催し、通常総会に引き続き日崎工業㈱代表取締役CEO三瓶修氏を講師に招き記念講演会を開催した。

リエゾン研究会については、座学を川崎市との情報交換会との同時開催として3回実施し、川崎市の臨海部関連の計画・事業に関するパブリックコメントについての説明会や意見交換を行い、当センターとして意見を提出するなど、川崎市の計画や事業に対しても、よりコミットする取り組みを進めた。

視察会は3回実施し、神奈川県立図書館、日崎工業㈱本社工場、浮島処理センター（環境産業に関する連絡会議と同時開催）を視察した。

第16回目となった「コンビナート都市連携シンポジウム」については、10月15日に、聴講とオンラインのライブ中継を組み合わせたハイブリッド方式により開催した。橘川国際大学学長による「コンビナート・リノベーション」と題する基調講演のあと、特別講演として「コンビナート・リノベーションに向けた様々な取組」をテーマに、行政・企業計4名の方から事例発表をしていただいた。

川崎市との政策懇談会については、11月6日に第1回を、2026年2月12日に第2回を開催し、川崎市の臨海部関連施策について1本部長・5局長から政策課題取組状況について発表をいただいた後、各理事を中心に意見交換を行い、また交流会も多くの方にご参加いただくなど活発な懇談会となった。

「川崎臨海部道路等に関する企業・行政懇談会」については、臨海部地域の道路に関し、川崎市関係部局等から説明をいただき、意見交換・要望を行った。

「循環型地域社会の形成に向けた環境産業との連携に関する連絡会議」については、浮島処理センターにおいて、環境局から情報提供をいただき、その後施設の視察（リエゾン研究会と同時開催）を行った。

当センターが実施した自主事業（川崎市共催）については、技能人材の育成に関し、中村東京大学工学部非常勤講師を講師に、「火災爆発体験講習」及び「製造現場の安全管理講座」を行った。

「川崎臨海部産学公民連携推進事業」については、2024年度まで川崎市からの委託事業として実施していたが、今年度から協定書及び覚書に基づき、川崎市と当センターとの連携・協力事業として実施した。このうち、企業間交流イベントとしては、「巡視船「あおぞら」に乗ろう」及び

「未来へ架かる橋！東扇島水江町線をもっと知ろう」を開催し、臨海部に働く方々の企業の枠を超えた交流を進めた。また、技能人材育成については、「安全体感研修」及び「新事業導入講座」を開催した。

その他の取組として、「川崎温暖化対策推進会議（CC川崎エコ会議）」、「川崎CNブランド等推進会議」をはじめ、川崎市等が主催する川崎臨海部の活性化と環境調和型まちづくりに関連する諸会議に参加した。

2 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

(定款第5条① 産業活性化及び環境保全に関わる調査・研究事業)

①自主事業

◎自主事業ア リエゾン研究会・政策懇談会事業

・費用額 (188,012円)

◎ア-1 リエゾン研究会事業

・内容

「リエゾン研究会」は、会員企業や関連事業者等による新事業展開や新たな土地利用などの先進事例についての視察会、情報交換等を通じて、会員相互の情報共有を図るとともに、川崎市の臨海部関連施策や、カーボンニュートラル、資源循環など環境・経済諸施策等に関する情報共有や意見交換、共同の取組みなどを行うことを目的に取組みを進めてきた。

2025年度は以下の研究会を開催した。

【第1回リエゾン研究会（川崎市との情報交換会と同時開催）】

◇内容

当センターの2025年度の主なスケジュール等を中心に川崎市の関連部局と情報交換を行った。

- ・日時 4月10日(木) 16時～17時
- ・場所 川崎市産業振興会館 12階会議室
- ・従事者人員 2人
- ・対象者 リエゾンセンター会員企業及び行政職員等 35人

【第2回リエゾン研究会(神奈川県立川崎図書館視察)】

◇内容

- ・社史を始め全国でも有数の企業関連図書が集まっている施設を見学し情報共有を図った。
- ・日時 6月17日(火) 14時～16時
- ・場所 KSP内神奈川県立川崎図書館及び書庫
- ・従事者人員 4人
- ・対象者 リエゾンセンター会員企業及び行政職員等 12人

【第3回リエゾン研究会(川崎市との情報交換会)】

◇内容

- ・臨海部国際戦略本部田中課長に「投資促進制度」の説明いただき、グループ討議及び意見交換。
- ・港湾局白井課長に「川崎港がもたらす経済波及効果」パンフレットの説明いただく
- ・日時 7月8日(火) 15時30分～16時50分
- ・場所 川崎市産業振興会館 12階会議室
- ・従事者人員 2人
- ・対象者 リエゾンセンター会員企業及び行政職員等 38人

【第4回リエゾン研究会(日崎工業㈱視察)】

◇内容

- ・中小製造業者でありながら積極的に環境等に関する取組を行っている同社の本社工場を見学し、情報共有を図った。
- ・日時 10月23日(木) 15時10分～16時
- ・場所 日崎工業㈱本社工場(川崎区大川町)
- ・従事者人員 2人
- ・対象者 リエゾンセンター会員企業及び行政職員等 12人

【第5回リエゾン研究会(川崎市との情報交換会)】

◇内容

- ・川崎臨海部に関連する川崎市のパプコメ案件のうち、臨海部国際戦略本部の3案件及び環境局2案件について、それぞれ担当課長から説明いただく。
- ※後日川崎臨海部投資促進制度の見直し(案)及び川崎市地球温暖化対策推進第2期実施計画(案)については、事務局で原案作成し、会員企業からの意見をいただき修正した意見を当センター名で、川崎市に書面提出した。
- ・日時 12月9日(火) 15時～16時30分
- ・場所 川崎市産業振興会館 12階会議室
- ・従事者人員 2人
- ・対象者 リエゾンセンター会員企業及び行政職員等 40人

【第6回リエゾン研究会(浮島処理センター等視察)】

◇内容

- ・「環境産業に関する連絡会議」と同時開催とし、会議室で環境局から、「廃棄物処理施設におけるCCUSの取組について」「川崎市循環型社会形成推進計画について」説明を受けた後、浮島処理センター内でCCUS実証実験現場・新たな資源化処理施設候補地等を視察した。
- ・日時 2026年3月26日(木) 14時30分～16時
- ・場所 浮島処理センター
- ・従事者人員 2人
- ・対象者 リエゾンセンター会員企業及び行政職員等 41人

◎ア-2 「川崎市との政策懇談会事業」

・内容

臨海部関連の川崎市の政策課題取組状況・予算措置状況等並びに会員企業の新たな課題への取

組み状況について役員・会員と川崎市関係局幹部との情報共有並びに意見交換を行なった

【第1回政策懇談会】

◇川崎市1本部・5局からの情報提供

[臨海部国際戦略本部] 「米国ボストンにおける産業活性化策について」

[経済労働局] 「経済労働局の取組」

[環境局] 「環境局の取組」

[まちづくり局] 「木材利用促進に関する取組」

[建設緑政局] 「建設緑政局の取組」

[港湾局] 「カーボンニュートラルポートの形成に向けた取組」

◇会員企業からの情報提供

[JFE エンジニアリング株式会社]「水素混焼ガスエンジンコージェネレーションシステムの紹介」

- ・日時 11月6日(木) 15時～17時
- ・場所 川崎商工会議所第5・6会議室
- ・従事者人員 14人(会員企業幹事8名を含む(無給))
- ・対象者 リエゾンセンター役員・会員44名と川崎市関係局幹部24名

【第2回政策懇談会】

◇川崎市1本部・5局からの情報提供

[臨海部国際戦略本部] 「臨海部ビジョン」

[経済労働局] 「経済労働局の取組」

[環境局] 「令和8年度予算と取組について」

[まちづくり局] 「川崎駅周辺総合整備計画の改定案について」「令和8年度川崎駅周辺に係る
主な予算案について」

[建設緑政局] 「建設緑政局の取組」

[港湾局] 「令和8年度港湾局予算案概要」他

◇会員予定企業からの情報提供

[三菱化工機株式会社]

- ・日時 2026年2月12日(木) 15時～17時
- ・場所 川崎市産業振興会館1階ホール
- ・従事者人員 13人(会員企業幹事7名を含む(無給))
- ・対象者 リエゾンセンター役員・会員36名と川崎市関係局幹部26名

◎ア-3 「川崎臨海部道路等に関する企業・行政懇談会」

・内容

臨海部地域における道路工事等の進捗状況と今年度の工事予定についての意見交換

※この懇談会は、臨海部道路を中心とする冠水問題を契機として川崎市建設緑政局の呼びかけにより2009年11月に発足した。

- ・日時 2026年2月24日(火) 10時～11時30分
- ・場所 川崎市役所復元棟201会議室、オンライン併用

- ・従事者人員 2人
- ・対象者 リエゾンセンター役員・会員 21名と川崎市関係局幹部・事務局等 20名

◎ア-4 「循環型地域社会の形成に向けた環境産業との連携に関する連絡会議」

- ・内容 環境局関連視察及び環境局からの情報提供・意見交換
※この連絡会議は、環境産業と行政との連携の推進により地球環境にやさしい持続可能なまちの実現を目的に環境局生活環境部の呼びかけにより 2009 年に発足した
- ・日時 2026年3月26日(木) 14時30分～16時 ※第6回リエゾン研究会と同時開催
- ・場所 浮島処理センター
- ・従事者人員 2人
- ・対象者 リエゾンセンター会員企業及び行政職員等 41人

(定款第5条② 産業活性化及び環境保全に関わる普及・広報事業)

◎自主事業イ 普及・広報事業

- ・費用額 (505,707円)

◎イ-1 「コンビナート都市連携シンポジウムの開催事業」

- ・内容
今回で16回目となる本シンポジウムはこれまで毎年1回、全国各地のコンビナート地域等の先進的な取組事例等を取り上げ、地域間連携や事業所間連携、産学官連携の取組について情報共有並びに議論を深めてきた。今回も、各地コンビナートのリノベーション等に係るカーボンニュートラルやサーキュラーエコノミーなどの様々な取組の情報発信を図った。

■基調講演

「コンビナート・リノベーション」 橘川国際大学学長

■特別講演（事例報告）

全体テーマ：「コンビナート・リノベーションに向けた様々な取組」

◇「コンビナートにおける脱炭素に向けた取り組み」

コンビナート高度統合運営技術研究組合 見目勇生氏

◇「川崎市のサーキュラーエコノミー」

川崎市 環境局 廃棄物政策担当 担当部長 入江真久氏

◇「四日市コンビナートのカーボンリユートラル化および先進化に向けた取組について」

四日市市 商工農水部 工業振興課長 釜瀬俊之氏

◇「TOA カーボンリユートラルビジョン」

・東亜石油(株) 生産管理部長 山田洋大氏

- ・日時 10月15日(水) 14時～16時30分

- ・場所 川崎市役所本庁舎2階ホール

※Web方式で中継映像を全国各地の参加者に配信

- ・従事者人員 16人(当センター5人委託先要員4人、会員企業幹事7人を含む)

- ・対象者 リエゾンセンター会員、後援団体、市内の関係者・市民、全国各地で関心のあるコンビナート関係企業・行政機関、発表者等に聴講を働きかけ、会場参加 65 名 Web88 名

◎イ-2 「展示会等への出展事業」

- a 川崎国際環境技術展への出展は、2025 年度は行わなかった。
- b 川崎区企業市民交流事業推進委員会主催の「知ろう!学ぼう!かわさき市民企業交流 Day」は、2025 年は行わなかった（今後については検討中）。

◎イ-3 「川崎市・リエゾンセンター定例情報交換会事業(月例メール配信事業)」

- ・内容
臨海部に関連する会員情報並びに行政からの施策情報等を相互に交換し情報共有を図るとともに必要な情報を会員に提供した。
 - a 情報交換会については、リエゾン研究会と同時開催として 3 回開催した。
 - b 5 月以降毎月第 2 週を目途にメール配信による情報共有を行なった。
- ・従事者人員 2 人
- ・対象者 法人会員(20 社)・賛助会員 (2 社)・個人会員(13 人)
川崎市；臨海部国際戦略本部事業推進部、経済労働局イノベーション推進部、環境局脱炭素戦略推進室

◎イ-4 「会報の発行事業」

- ・内容
会員向けの当 NPO 法人に係る広報として、NPO 法人の活動状況、会員企業の臨海部関連情報などを提供した。
 - <第 52 号> (2025 年 7 月 24 日発行)
「第 83 回理事会」・「第 21 回通常総会」、「リエゾン研究会の開催第 1 回・第 2 回・第 3 回」、「川崎臨海部企業の人材育成講座」等
 - <第 53 号> (2025 年 12 月 19 日発行)
「第 84 回理事会」・「臨時総会」・「川崎市との政策懇談会の開催」、「2025 年度コンビナート都市連携シンポジウムの開催」、技能人材育成事業「製造現場の安全管理講座」・「安全体感研修」、臨海部企業間交流イベント「巡視船「あおぞら」に乗ろう」・「未来に係る橋！東扇島水江町線をもっと知ろう」等
 - <第 54 号 > (2026 年 3 月 27 日発行)
「第 85 回理事会・川崎市との政策懇談会の開催」、「令和 7 年度川崎臨海部道路等に関する企業・行政懇談会の開催」、「令和 7 年度循環型地域社会形成連絡会議並びに第 6 回リエゾン研究会の開催」
- ・従事者人員 2 人
- ・対象者 法人会員(20 社)・賛助会員 (2 社)・個人会員(13 人)
川崎市；臨海部国際戦略本部臨海部事業推進部、経済労働局イノベーション推進部、環境局脱炭素戦略推進室

◎イ-5 「ホームページを通じた情報発信等事業」

・内容

ホームページを通じて、「会員企業の最新の動向」として、会員企業の事業活動に係る最新情報を発信するとともに、当センターが実施した活動を随時掲載した。

- ・日時 「会員企業の最新の動向」は前月の会員企業各社のプレスリリース情報を取りまとめ翌月の第2週を目途にアップロードした。その他の情報は、随時アップロードした。
- ・場所 当センターのホームページに掲載
- ・従事者人員 2人
- ・対象者 法人会員企業20社・賛助会員(2社)。川崎市関係局・本部、臨海部に関心のある市民・企業

(定款第5条③ その他この法人の目的を達するために必要な事業)

◎自主事業ウ 技能人材育成講座

- ・費用額 (1,298,776円)

川崎市が掲げる臨海部ビジョンのリーディングプロジェクト「世界に誇れる人材育成プロジェクト」につき、以下の事業について川崎市と共催し、臨海部地域の企業の枠を超えた技能人材や研究開発人材の確保・育成につなげるため、会員企業及び臨海部立地事業所の社員を対象とした講座を開催した。

◎ウー1 「製造現場の安全管理講座」

- ・内容 製造現場の責任者等を対象に、製造現場の安全管理について、様々な角度から、豊富な事例を交えて講義を行った。
- ・日時 9月3日(水)・10日(水)・17日(水)・24日(水) 13時～17時
- ・場所 川崎市産業振興会館12階会議室
- ・講師 東京大学工学系研究科 非常勤講師 中村昌允氏
- ・対象者 臨海部事業所で製造現場の責任者等や、経営者・管理者等
- ・従事人員 2名
- ・受講者 3日(水):11名・10日(水):9名・17日(水):9名・24日(水):9名(延べ38名)

◎ウー2 「火災爆発体験講座」

- ・内容 石油・石化工場の危険物取扱等に関する講習
- ・日時 4月18日(金) 9時～11時30分
- ・場所 川崎市産業振興会館12階会議室、※午後は、消防庁消防研究センターを自由見学
- ・講師 東京大学工学系研究科 非常勤講師 中村昌允氏
- ・対象者 石油・石化工場の危険物・可燃物等を扱う若年の現場運転員等
- ・従事人員 2名
- ・受講者 30名

(定款第5条③ その他この法人の目的を達するために必要な事業)

②連携・協力事業

◎連携・協力事業ア 「川崎臨海部産学公民連携推進事業」

- ・費用額 (1,931,697円)

※2025年度から、川崎市と協定書及び覚書を締結し、連携・協力事業として実施

◎内容ア-1 「川崎臨海部活性化推進協議会」企画・立案運営等業務

協議会の企画・立案の支援及び当日の受付補助等の業務を行った。

<第1回川崎臨海部活性化推進協議会>

- ・日時 10月6日(月)13時~17時
- ・場所 JFEスチール(株) 東日本製鉄所京浜地区
- ・従事者人員 2人

[議題]

川崎臨海部における大規模土地利用転換の取組について。見学会も実施。

<第2回川崎臨海部活性化推進協議会>

- ・日時 2026年2月16日(月)15時~17時
- ・場所 ステーションカンファレンス川崎
- ・従事者人員 2人

[議題]

(1) MKKプロジェクトの紹介

(2) モーダルシフト推進による持続可能な物流の取組 他

- ・対象者

各回とも以下のとおり

川崎臨海部立地企業及び準ずる企業・団体等、川崎臨海部地域に関わる経済・産業団体、川崎臨海部産業立地等に関わる大学研究者及び学識経験者等、川崎臨海部地域に関わる地域代表者、行政機関、

◎内容ア-2 「働きやすく暮らしやすい環境づくりプロジェクト」に基づく、企業間交流イベント等の開催

※川崎臨海部の企業等で働く社員等に対し川崎臨海部という同じエリアで働く仲間として、気軽に参加し、業務へのフィードバックにもつながるような交流事業を実施。

<巡視船「あおぞら」に乗ろう>

- ・内容
川崎市港湾局巡視船「あおぞら」に乗船し川崎臨海部を海洋から視察し、参加者間の交流促進。
- ・日時 10月2日(木)14時~16時
- ・場所 川崎港
- ・従事者人員 4名
- ・参加者 48名

<未来に係る橋！東扇島水江町線をもっと知ろう>

- ・内容

東扇島水江町線の橋梁工事現場にある PR 館で VR による工事行程・工法の 3D 体験及び橋梁工事現場で開通前の道路を歩く体験をし、参加者間の交流促進。

- ・日時 12月4日(木)13時50分～16時40分
- ・場所 東扇島水江町線の橋梁工事現場 PR 館 他
- ・従事者人員 3名
- ・参加者 20名

◎内容アー3 臨海部ビジョン「世界に誇れる人材育成プロジェクト」に基づく、技能人材育成講座・研修

<安全体感研修>

- ・内容 JFE スチール(株)「安全考学未来館」で、初学者向けの安全体感研修を実施。
- ・日時 11月20日(木)13時～17時
- ・場所 JFE スチール(株)「安全考学未来館」
- ・従事者人員 2名
- ・参加者 11名

<新技術導入講座>

- ・内容
横浜国立大学 IMS 客員教授田邊雅幸氏を講師に、プロセス安全マネジメント等をテーマに講演していただき、質疑応答を行った。
- ・日時 2026年1月28日(水)14時～15時50分
- ・場所 川崎市役所本庁舎 203・204 会議室
- ・従事者人員 3名
- ・参加者 会場：23名 WEB：34名

◎内容アー4 臨海部ビジョン「エリアブランディングプロジェクト」に基づく、臨海部の情報発信、知名度向上に向けた環境・産業交流コーナーの管理及び情報発信・収集等

<環境・産業交流コーナーの管理>

- ・内容
川崎市産業振興会館 12 階の「環境・産業交流コーナー」を管理し、以下の情報を収集し閲覧できるように整備した。
 - ①川崎臨海部立地企業の事業所概要、カーボンニュートラルに向けた取組状況、CSR・環境レポート等
 - ②石油業界、石油化学業界、鉄鋼業界など臨海部立地業種に係る動向、全国各地コンビナートの動向、川崎市の臨海部関連・地球温暖化対策関連施策等
- ・開館日時 月曜日～金曜日 10時～16時
- ・場所 川崎市産業振興会館 12 階
- ・従事者人員 3名
- ・対象者 コーナーに関心のある市民・企業等

<ホームページによる情報発信・収集>

- ・内容
毎月、会員企業 20 社の技術革新、国内外展開、社会貢献活動等についてのニュースリリース記事を収集し、収集情報を当 NPO のホームページにアップし会員企業並びに川崎市の臨海部関連部局に配信するとともに一般に公開した。
- ・場所 Web で発信
- ・従事者人員 2 名
- ・対象者 臨海部に関心のある市民・企業等

◎その他事業

各種協議会、委員会等への参加

- ・費用額 0 円
- ・内容
次の各種協議会、委員会等に参加し、川崎市等との連携のもと、それぞれの目的達成に向けて活動した。

◇「川崎温暖化対策推進会議（CC 川崎エコ会議）」（事務局 川崎市環境局脱炭素戦略推進室）

[構成団体] 市内企業・市民団体・業界団体・学校・行政等

[会長] 当センター足立理事長

[理事] 33 名中、会員企業では味の素(株)、ENEOS(株)、JFE スチール(株)、東京ガス(株)、東京電力パワーグリッド(株)が理事。

[運営委員会] 中村専務理事委員長。委員 10 名中、会員企業では東京ガス(株)、東京電力パワーグリッド(株)が委員

◇「川崎 CN ブランド等推進協議会」（事務局 川崎市環境局脱炭素戦略推進室）

[構成団体] 川崎市・川崎市産業振興財団・川崎商工会議所・当センター

[会長] 当センター足立理事長(併せて審査部会委員長)

[委員] 当センター中村専務理事 (併せて運営・推進部会委員)

※今年度は当センターの会員企業のうち 2 社が認定を受け、特に(株)クレハ環境は大賞受賞。

●(株)クレハ環境 サービス部門「カーボンニュートラルに貢献する廃棄物処理サービス」

●JFE スチール(株) 製品部門「洋上風力基礎構造部向け大単重厚鋼板 J-TerraPlate」

※2009 年度からの認定のべ数は 147 件、うち当センター会員企業 22 社・38 件 (約 26%)

◇「川崎国際環境技術展実行委員会」（事務局 川崎市経済労働局イノベーション推進室）

[構成団体] 川崎市 (委員長：市長)、各種法人・業界団体・市民団体・学校・行政等

[会計監事] 当センター足立理事長

※委員会で監査報告を行うとともに、開催セレモニー等出席 (中村専務理事代理出席)

◇「川崎区企業交流事業推進委員会」 (事務局川崎区まちづくり推進部地域振興課)

[構成団体] 川崎臨海部に関わる市民団体・産業・文化・福祉・教育関係者等

[委員] 会員企業では、味の素(株)、ENEOS(株)、JFE スチール(株)、(株)レゾナック、東京ガス(株)、東京電力パワーグリッド(株)及び当センター (神前事務局長) が委員。

◇「その他法人及び会員企業が参加する主な会議」

a 川崎臨海部防災協議会(事務局 川崎市総務企画局危機管理室、臨海部国際戦略本部事業推進部)

[構成団体] 臨海部立地企業、臨海部関連産業団体及び川崎市

会員企業では、旭化成(株)、ENEOS(株)、JFEアーバンリサイクル(株)、JFEスチール(株)、クレハ環境(株)、(株)レゾナック、東亜石油(株)、富士電機(株)及び当センター(神前事務局長)。

※2025年度川崎臨海部広域防災訓練

・日時：2026年2月13日(金)

・訓練内容：地震発生時に、臨海部各島の交通が途絶したことを想定し、臨海部事業所・団体、行政間で情報伝達訓練を実施。神前事務局長参加。

b 川崎カーボンニュートラルコンビナート形成推進協議会(事務局 川崎市臨海部成長戦略推進部)

[構成員] 川崎市、学識者、企業・団体(主に川崎臨海部)、省庁、自治体

会員企業では旭化成(株)、味の素(株)、ENEOS(株)、クレハ環境(株)、JFEエンジニアリング(株)、JFEスチール(株)、J&T環境(株)、(株)デイ・シイ、東亜建設工業(株)、東亜石油(株)、東京ガス(株)、東京電力パワーグリッド(株)、富士電機(株)、(株)レゾナック及び当センター。

c 川崎市脱炭素経営支援コンソーシアム(事務局 川崎市環境局脱炭素戦略推進室)

[構成員] 市内中小企業、市内企業関係団体、地元金融機関、市内中小企業支援団体、市内大学等及び川崎市。当センターは支援機関として参画(中村専務理事)。

3 運営体制等

(1) 役員は11名体制のもとに、理事長を中心に事業計画・予算等の主要な方針を決定するとともに、川崎市との政策懇談会等で、主要な役割を担った。

事務局は、専務理事、事務局長及び派遣社員で運営。

(2) 会員数 (2026年3月末現在)

団体会員 20社

個人会員 13人及び賛助会員 2社

(3) 幹事会

当センターの事業活動の企画・運営全般にわたり協議、意見交換を行い、事業の円滑かつ効果的な推進に努めた。

・開催日：2025年4月10日(水)、7月8日(火)、10月7日(火)、2026年2月3日(火)

・幹事長 東京電力パワーグリッド(株)

・副幹事長 東亜石油(株)

・幹事 JFEスチール(株)、(株)デイ・シイ、(株)浜銀総合研究所、ENEOS(株)、東京ガス(株)

※都市連携シンポジウムでは幹事長が司会を行った。

2025年度主な事業の実施経過

2026年3月31日

特定非営利活動法人 産業・環境創造リエゾンセンター

1 2026年3月31日現在の会員数

団体会員 20社
賛助会員 2社
個人会員 13名

2 2025年度の主な事業活動報告及び活動予定

<4月>

10日（木）第1回幹事会・第1回リエゾン研究会・市との情報交換会
18日（金）当センター主催・川崎市共催 火災爆発体験講習
24日（木）川崎CNブランド等推進協議会運営・推進部会（専務理事出席）

<5月>

8日（木）会計監査 小澤監事
22日（木）第83回理事会・第21回通常総会
28日（水）川崎区企業市民交流推進事業委員会（事務局長出席）
30日（金）川崎CNブランド等推進協議会（理事長・専務理事出席）
国際環境技術展実行委員会（専務理事代理出席）

<6月>

4日（水）臨海部防災対策協議会（事務局長出席）
12日（木）CC川崎エコ会議運営委員会（専務理事出席）
17日（火）第2回リエゾン研究会 神奈川県立図書館視察
27日（金）川崎区企業市民交流推進事業委員会（事務局長出席）

<7月>

8日（火）第2回幹事会 第3回リエゾン研究会・川崎市との意見交換会
9日（水）CC川崎エコ会議理事会（理事長・専務理事出席）
18日（金）川崎区企業市民交流推進事業委員会（事務局長出席）
25日（金）川崎区企業市民交流推進事業委員会（事務局長出席）

<8月>

22日（金）川崎区企業市民交流推進事業委員会（事務局長出席）

<9月>

3日（水）当センター主催・川崎市共催 安全管理講座
川崎カーボンニュートラルコンビナート形成推進協議会（専務理事出席）
10日（水）当センター主催・川崎市共催 安全管理講座
17日（水）当センター主催・川崎市共催 安全管理講座
川崎市脱炭素経営支援コンソーシアム（専務理事出席）

22日（月）川崎市産業振興会館防災訓練（専務理事出席）

24日（水）当センター主催・川崎市共催 安全管理講座

<10月>

2日（木）当センター・川崎市共同事業川崎臨海部企業交流会（巡視船「あおぞら」に乗ろう）

6日（月）第1回川崎臨海部活性化推進協議会

9日（木）川崎CNブランド等推進協議会（理事長・専務理事出席）

15日（水）コンビナート都市連携シンポジウム（第16回）

22日（水）CC川崎エコ会議運営委員会（専務理事出席）

23日（木）第4回リエゾン研究会 日崎工業視察

<11月>

6日（木）第84回理事会・臨時総会・第1回政策懇談会

11日（火）CCかわさきエコ会議・スマートライフスタイル大賞選考委員会（理事長・専務理事出席）

12日（水）・13日（木）川崎国際環境技術展（カルッツ川崎）（専務理事出席）

20日（木）当センター・川崎市共同事業 安全体感研修

<12月>

4日（木）当センター・川崎市共同事業 川崎臨海部企業交流会（未来に係る橋！東扇島水江町線をもっと知ろう）

9日（火）第5回リエゾン研究会・川崎市との意見交換会

2026年

<1月>

28日（水）当センター・川崎市共同事業 新技術導入講座

<2月>

2日（月）CC川崎エコ会議（理事長・専務理事出席）

12日（木）第85回理事会・第2回政策懇談会

16日（月）第2回川崎臨海部活性化推進協議会

24日（火）川崎臨海部道路等に関する企業・行政懇談会

<3月>

12日（木）川崎市脱炭素経営支援コンソーシアム（専務理事出席）

17日（火）川崎CNブランド等推進協議会運営・推進部会（専務理事出席）

24日（火）川崎カーボンニュートラルコンビナート形成推進協議会（専務理事出席）

26日（木）循環型地域社会の形成に向けた環境産業との連携に関する連絡会議

※第6回リエゾン研究会と同時開催